夢亭詩抄人名

全

夢亭詩抄人名

全

E45
771

東夢亭

夢亭詩鈔　上中下三巻

扉　夢亭東先生著　夢亭詩抄　寄春草堂蔵板

奥　万延元年庚申小春刻成

発行書林　京　勝村治右衛門　江戸　和泉屋金右衛門

大坂　河内屋喜兵衛　仝　雲出屋伊十郎

山形屋伊右衛門

題字「寄春草堂」西呉貫丹旭
〔貫丹旭下　白文〕〔保松欽書　白文〕

「寄春草堂図」乙巳弘化十月作、頃詞兄賜和拙作、並以詩箇見貽、因属貫君子萱為書斎傍並影是図、以博一粲、王元珍
〔元珍　白文〕〔子貞　朱文〕「佩芳宗臨」〔宗臨堂　朱白〕

東京帝國大學圖書之印
B 23475

王手柬

「蓉坡先生倡史銅船順旋心園鈕君、携到伯顧

宋先生見和拙作」、「借西吳晚耦貴君書之、

貴君名宜、江南收書屋頗不易得」云、「墨亭弟

王元珍頓首」

耦界 朱文　松聆閒閣 朱文

夢亭詩抄序

「夢亭宋君所著唐詩正聲箋註」云々「唐詩箋註（高適訂）

之外、又注五代史」「安政二年春二月初吉佐嘉後学草

場韓攜并書 佩川 白文

序 「廣仲翔謂、天下有一人知己則足矣」、「嶧陽田

子禄遊坊州還、稱夢亭翁為人」「錢塘王元珍」「嘉

永四年歳在辛亥仲春、豊前恒遠和撰、蘇郡江元燧書」

江元燧 白文　星畔 朱文　恒遠書昌」

序 「石秋山人劉翥撰、兒昇書 劉昇 白文　金窓 朱文

例言 「先生没後、徧芳氏欲續遺志以刻其集」、「全

集起丁卯 文化四 終己酉 嘉永二」「先生與錢塘王梅窗

唱和有年」「安政丁巳 四 初夏、伊勢江川約識」

卷之上

伊勢宋駿伯績著　門人江川約札御校」

「自丁卯至丙申」

「題清泉碑並引、山口重治寄恵水口土山之間之水、稲川

橋東川、相地穿水、（中略）童冶子童主知、令林郭氏
記其事、遂鐫之于石」
「庚午文化七杪冬、予寓四巻韓先生宅、適橋不窩、見
示其郷友源棠甫書牘、（中略）遥寄棠甫」
「春夜桜葉館小酌、寄懐西村宜之」
「暮春陪迂齋四巻二先生于流憩處」
「季夏寄懐家不審、橋不審、近冒家姪」
「秋興八首、辛未文化八秋、泊湖富居」
「陪四巻先生及何敬軒池郁哉石仲文遊西郊」
「暮春一夕與孫孟緯飲、適西子贇至、（中略）時四巻
先生在芳野、文化十癸酉」
「竹井花下、竢迂齋孟緯不至」

高知堂製

「一日迂齋翁試余、賦消夏二十首」、
「夏園晩散、適西子贇至、同歩宮川」
「秋夜何敬軒山子亭、孫孟緯見訪桜葉館」
「従四巻先生及孟緯、游檜江」
「桜葉館小園小酌」
「送四巻先生之伊州」
「和小徐霞亭見寄韻、澗水冷々滴竹根、石平
苔古昨遊痕、獨攤詩巻無人事、讀罷春林
日未昏」
「春夜五鈴館上、寄懐孫孟緯」
「暮春四巻先生与諸子、游五鈴溪上、見招藤子
文及余、往而邀之于不除軒、不除軒子文別業、

余頃寓焉」、
「櫻葉館小酌、同孫孟緯賦」、
「哭雲雨孺人、四巻先生室、依君三歳度寒宣、
愛恤何惟阿母恩、柳亦攢眉花亦泣、一窓春雨
寂無言」、
「夏夜櫻葉館作」、
「鋤雨亭夜酌、呈四巻先生」、
「陪四巻先生遊蓮溪」、
「初秋余携室寓洗憩処、適米貴、戯呈四巻
先生」、
「乙亥之秋、高木呆翁、置小茅宇于其家山梅
坳、見邀諸彦、余亦與焉」、控

12 高知堂製

婦即孟緯室小林氏姉也

「七夕梅村水樓集、帰途次四巻先生韻」、
「仲冬穏七日飲于吟月樓、席上呈梁星巌」、
「星巌将還、余挙留之、相携自鋤雨亭遊蓮
溪」、
「初春陪四巻先生遊白石山」、
「次四巻先生月輪梅花韻十三首」
「冬日陪四巻先生、遊教王山南小丘」、
「庚辰文政三四月六日、余娶婦、字孫孟緯在関東」、
「中秋同廣原一、石仲幼、泛東江」、
「送中川子直之越、君告別愛妓、愛妓云、妾當以
明年帰其、餞以珊瑚勒珠一顆、其情意可憂、
故及」、

「送小林生還出雲、生與工藤太平二子、受業于花
岡青洲門、來遊吾郷、各將還國、余同河北子、餞
之翠濤亭、適高生不到、悵然賦之」
「壬午改歳除」
「塩田適齋枉駕草堂、見示新詩數首、席上次
韻」
「夏日同益叔龍及弟敏卿、遊蓮臺精舍」
「初春到前山里居宅、歸途自小石溪、遊梅香寺、
同叔龍子壽賦」
「二見浦途上次四巻先生韻」
「四巻先生和余邑檜工作、（中略）再用前韻却寄」
「除夜流憩處小集、次宇仁雨航韻」

「韓伯成見贈盆栽石菖蒲」
「首夏雨中到湯田村丹羽氏」
「仲秋遊慶法寺、遇雨、同西竹坡賦」
「遊梅四」
「九月十三夜、飲花月樓、（中略）次呆翁韻」
「秋日訪古海禅師不值」
「書懷寄竹坡」
「悼四巻先生、一代文章傳不朽、卅年師弟情
無期、又空拋後進歸黄土、私議先生諡白
雲」
「賴山陽韻」
「先師四巻大祥日、墓下即事、只恐先師多遺事、孤

碑磬罷勤文庫」、
「冬夜同釋文哉、韓東軒遊慶宝寺」、
「八月十二夜、同孫楓窓父子歩錦江」、
「十三夜同韓東軒、林棕林、遊樟村紀事」、
「冬夜訪古海禅師」、
「京友赤山以詩問余、因有此作」、
「初春同韓撫松、松田適斎、遊楊爐原」、
「韓東軒携室、將之西峨」、
「暮春二十三日到臨㮶村、宿向井氏家」、
「十月九日同雨舫、撫松、従水雲亭下泛舟」、
「小津桂窓見訪草堂」、
「秋日口占、録示森質」、

12 高知堂製

「遊覚弘精舎、看萩花、待勝田迷竹不到、中川子固冒勝田氏、迷竹其字」
「賦示森北條二生、一理貫天地、小大皆由之、吾医亦爾耳、取意不取辞、(中略)我雖屈草莽、是心終不移、區々小方技、誤為糊口資」、

卷之中

「自戊戌至癸卯」天保九至十四年
「題倉山酉合簡」、
「夏晩独坐、待有田玉渓過訪之約」、
「仲秋同与迷竹東軒、同遊漱玉亭」、
「次韻適斎見贈水仙花」、
「冬至草堂即事、予家毎歳冬至作牡丹餅、祭

神農氏」

「戊戌紀事、吾郷高木某自上野國寄書」云々、

「送田中玉溪遊松坂西南諸境」、

「冬夜幽竹過訪」、

「過河石濱」、

「晩春燕子亭小酌、同幽竹管村賦」、

「河埼生携先師韓翁詠隨軍茶詩、令予次韻」、

「小津桂窓寄示月瀬日記」、

「十月十三日同松崗過齋藤仲友江戸秦隆古、遊松尾山」、

「冬夜寄田玉溪」、

「古森河埼二生初入余門、賦此以示」、

「次韻田玉溪病後寄懷」、

「夏日同幽竹及二書生遊慶宝寺」、

「唐詩正声箋註上梓、因示書生」、

「杪秋同久米冊木樵水、将遊慶宝寺」、

「花月樓追祭梅兒所、兒所善書及墨竹」、

「二月同幽竹東軒及益生游宮川」、

「初夏同田玉溪益生遊慶宝寺」、

「紅葉亭夜酌、賦示益蘭堂韓東軒」、

「十五夜草堂小集、賦謝玉溪幽竹二子」、

「哭韓仲友、正有乃兄倚後事、靈牌上叔々祀堂空、草場師、畀是遇玉先生之孫欽、玉碑石全、古今同歎」

「仲秋同玉溪遊梅天庵」

「田幽竹二十年前、造小屏風、糊同社詩、二十三張」

「九月三邀幽竹」

「初冬請子訪草堂、同到教王山」

「遊川上氏別莊」

「十月廿四日、同韓東軒、飲于田尻農家」

「次東軒雪中憶子亭獨酌韻」

「臘月二十四日夜、招幽竹」

「題琴屋茶箱」

「四月三日蒲堂見贈年魚鮓、因挙一杯」

「春雨中雪香亭招酌」

「初夏歩高向村、過高福寺、々主為余點茶」

12 高知堂製

「題墨蘭、呈浄智禅尼牌位、禅尼今年八十、余使賤妻作此図、欲以寿之、適禅尼罹疾而終、不勝歎惋、更題一絶」

「題蒙唱庵存稿」

「訪石淙隠居」

「仲春朔同諸子北郊小酌」

「三月九日松尾山中班荊而坐」

「春日水上園」

「歩自高向村、到古川北岸」

「紅葉亭夜飲」

「遊西村子賀山園」

「阿伽井途中」

「晩春西子賛招三餘社諸子於山園、余亦与焉」
「春日教王山」
「春盡前一日口占示門下四子」
「題茁齋畫、春盡日訪黄柑園、適壁上掛此
幅、卒尓題之」
「孟夏遊高向村」
「楓亭即事」
「田宮寺僧惠齋、延予診視、時孟夏廿九日也、」
「瑞華上人招余于水上園、賞假山躑躅花」
「次韻錢塘王梅菴、將作東海之遊、留別同社
諸君之作」詩、「梅庵嘗將来吾長埼、海上遇
颶而返、後有臺灣、海路梗塞不果、客歳事

12 高知堂製

平、以此詩託商舩、以請本邦詩人之和」
「寄沈萍香、萍香錢塘人、往歳附載商舶、来
吾長埼、有遊花月樓七言古詩、(中註)適余唐
詩正声箋註刻成、因託商司、請序于萍香、
時余注五代史」
「謹次久野侯宿溪琴山房韻」
「晩同画竹及二書生到北江」
「仲冬到松坂途中口占、示益伯海」
「久野侯以琴甫石造硯見賜、(中略)立春日試之」
「西濱侯賜偕樂園花瓶、」

卷之下

「自甲辰（弘化元）至己酉（嘉永二）」

「雪香亭泛飲、益叔龍既去」

「郭北飲農家、帰途到宮川、同玉渓南浦」

「白雲亭」

「二月二十一日鍋島侯肥前侯枉駕吾塾」

「初夏訪宝月上人」

「追餐韓大年翁、翁諱天寿、字大年、号酔晋斎、本細野氏、平安人、来嗣吾塾中川氏、細野之先、出於朝鮮、因称韓氏」

「四月二十七日、法住院小集、與村井漠所、喜早欽所同賦」

「題浦城氏鳧石」

「古森守一近寓余塾」

12 高知堂製

「八月十三日法住精舎集」

「十月望与西村竹坡、古森宣三、喜早欽所、僧小石渓、渓即宣三之所有」

「寄懐田士禄、時在長門下関」

「鷹羽雲淙将之関東、雨中過草堂告別」

「真乗院大僧正徴余詩稿」

「弘化二年春二月、紀公自海上、臨久野侯別荘」

「再寄王梅巷」

「十五夜懐亀谷氏清集」

「訪覚弘院」

「聚芳亭作」

「初冬十三日古森痴雲、近藤伯氏肴吾翁于寺

榮院、時移爾所安一大石、置之院内、彫其
冬夜句、以傳不朽」、
「戯寄藤竹亭」、時年六十五、再娶妻」
「丙午弘化三歳旦」
「雪中将訪菩提山、雨至不果」
「正月十四日益叔亮至、叔亮嘗去余塾、留寓
南島二十年矣、春首例携島中産物來」
「荻箬筆、吾郷ニ見浦、有称演教者、或曰片葉
芦、葉々皆生一辺、蓋与御花葉篋、同種異名、並
為詞人所称、筆工某家、世代教、以造筆箬、箬
存片葉、其製甚麁、不堪用、然亦文房中、以
為一品也」

12 高知叢觀

「久野侯以高竹見賜」
「次韻玉城侯待花」
「楊梅原農家小酌有感、前日余侍久野侯宴」
「一友人語話玉城侯猟勝田山中」
「奉呈玉城侯」
「雨後歩至寺、次石洞韻」
「晩春雪香亭閑坐」
「題畫竹、又金森金屋之江戸」
「奉謝玉城侯賜蕭薇扇」
「招画竹同飲」
「仲秋既望、松田葵亭期叩草堂、甲路薄草竹
坡來、適得小閑、同訪葵亭、不逢、遂到白雲亭、葵

亭棒園先在、」
「秋夜草堂、送薩野伯敬之關東」
「客冬金森得水僦居岡本里、期而將去、」
「送石潭生之土佐」
「寄鉄翁和尚、和尚謂余曰、書畫一體、老衲不
用世人所称畫筆」
「臘月十九日立春大雪、招葵亭幽竹」、
「仲春偕癡雲幽竹雨蕉、訪休休菴、（中略）賦謝
海圓長老」
「暮春七日休休菴集、（中略）竹坡漠所霞山三人、
（中略）來會焉」
「夏日偕玉溪漠所遊休休菴」

高知堂製

「次韻菅子正見寄」
「釋古岳十九年前訪草堂、別後絶無音塵、
近聞寓于南紀不二埼、以菅遜庵、徵君居士與
詩、」
「大光和尚養痾于休々菴」
「次韻山本昭德見寄」
「送僧蝸庵」
「恭聞玉城侯奉紀侯公命、賀天子即位」
「為中野負古鴈、寄題兼好法師碑」
「寄題西肥對岳樓、（中略）永野氏所築、名輝徵、
字厚義、一號抱雲、肥後天草郡人」
「十月十九日夜小濱士順拉春木生過訪、」

「次菅孤山書適」
「戊申元旦立春」
「次韻鷹羽世誼見問近状」
「観音寺松樹歌、贈小濱士顥」
「暮春十八日宿小俣村、遅明謁鳥羽侯于客館」
「十五夜（中略）雪香亭（中略）西竹坡、喜欽所、祝粟
園既去、古石澗、江瀾雪在焉」
「漢所有故、辞村井氏帰家」
「次韻鷹巖大夫冬日閑居」
「次韻村上等書懐」
「十月二十五日（中略）到西行谷、示田士祿」
「丸山鳴石過訪、適葵亭来」

「送丸山士肅並引、士肅信濃人、遊学江戸、頗善
詩文、今冬来吾勢、寓于足代氏、十有餘日、数訪
学堂、如舊相識、当歳晩将遊京、因賦長律、
以代離歌」
「示平安愚楽主人」
「謝高島直巖見遺磬石並引、余蔵丈山翁小
磁研、題文友二隷字、描金、蓋自書也、高松藩
士高島直巖、嘗游吾勢、帰路入京、訪詩仙
堂、客歳余以此硯贈之、直巖欣賞不已、（中略）
報以磬石一枚」
「病中吟、已悟死期来、猶求活路開、古方功未
奏、心下痞如杯、草曰、杯豈不作之崇字、（巻末）」

「亭再昨年來、為伊勢喜早、江川二君、評閲夢亭
詩稿十冊、至今春卒業、所授詩數一千百八十餘
首、　草場韡、
「己酉二嘉永六月享齡五十九歲而沒、佩芳室氏欲上
梓以不違也切矣、門人松田混原泉、村井常士教同
謹跋」
「萬延元年庚申小春刻成」

高知堂製